


【個人】

提出 令和2年(2020年)2月3日

山行報告書

山行報告提出者：鈴木聖

山域・山名：西穂独標 2,701m		長野県松本市
入山日：2020年2月1-2日（土-日） 1泊2日		
プラン担当者 正：鈴木 副：		独標より左からピラミッドピーク、西穂、奥穂
参加者	L：報：記：鈴木	
	男 1名、女 名、計 1名	
天候：2月1日：曇り小雪 2月2日：晴れ中風		
2月1日 (土)	07：05 新宿発高速バスで平湯経由新穂高温泉、ロープウェイにて西穂高口へ、 13：15 山行開始-14：15 西穂山荘着、テント設営（行動：1h00）	
2月2日 (日)	04：45 起床-06：30 西穂山荘発-06：40 丸山-07：30 独標-8：15 丸山- 8：30 西穂山荘テント撤収 10：00-11：00 西穂高口着、ロープウェイで新穂高 まで下山、平湯経由バスで帰宅。（行動：4h30）	
荒天候時のエスケープルート：小屋泊に切り替えるか、山行中止し引き返す。		
装備と食糧	共同装備：共同食：車提供者：すべて無し	
	個人装備：冬用テント一式、ストーブ（寒冷用ガス缶）、クッカー、ヘッドランプ、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、シュラフ、ヘルメット、エア（銀）マット、水、テルモス、帽子（目出帽）、ゴーグル、冬グローブ、スパッツ、ストック、ピッケル、アイゼン、わかん、ツェルト、スコップ、スノーソー、携帯トイレ、サブザック 個人食：食事×4 プラス予備食、行動食	
感想	2月1日 直近でまとまった降雪があったようで白装束をまとった樹林帯を黙々と歩く。 とはいえトレースはしっかりついており急登は汗をかかぬようゆっくり歩を進めた。 2月2日 起床時は満天の星、日の出前に出発する。丸山からは予想通り強い西風にあおられるがよろけるほどではない。降雪は飛ばされて雪面はクラスト化しておりアイゼンがきっちり決まる。独標前の岩場を慎重に上り到着すると、奥穂-前穂の吊尾根をはじめ突き抜ける青空に映える穂高連峰が現れた。 下山時、しっかり締め上げなかった靴紐のせいで右足親指の爪が痛くなり、長い行程ではないからと手を抜いた事を悔やんだ。 スノーソーは昨シーズンから使い始めたが、テント設営でブロックが積み上げられるので重宝している。	